

【 学校経営方針 】

◎学校教育目標

「自ら考え、判断し、行動できる子どもを育てる」

○努力目標（めざす子ども像）

1 生き生きとして自ら学ぶ子

- ・ 授業の充実
- ・ 創意工夫ある活動の推進
- ・ 基礎学力の育成

【具体的目標】

- ① 漢字や計算の練習などを繰り返し行うことにより、習得率の向上を図るとともに、わかりやすく主体的に学びあえる授業に取り組み、学習意欲を向上させる。
- ② 標準学力テスト（CRT）を実施し、児童生徒の学力の到達度を把握することにより、教材分析の充実などの指導方法の改善に取り組む。
- ③ 豊かな感性を育むため、各教科で地域の人材を活用した授業を工夫するなど、ねらいを明確にした体験的学習を展開する。

2 心身ともにたくましく生きる子

- ・ 基本的生活習慣の育成
- ・ 基礎体力、運動能力の育成

【具体的目標】

- ① 小中9年間を通じて発達段階に応じ、きまりや約束事を守り、規則正しい生活を送ることができるようにする。
- ② 場面に応じて「ありがとう」や「ごめんなさい」の言葉が言えたり、元気よく挨拶が交わせたりできるようにする。
- ③ 体を動かす遊びや部活動を通じて、基礎体力や運動能力を身につけさせる。

3 思いやり・人権を大切にする子

- ・ 人権教育の推進
- ・ 子ども理解、実態の把握

【具体的目標】

- ① 授業での学び合いや支え合いをはじめ学校生活のさまざまな場面で、友だちを大切にし、状況や相手のことを考えた言葉遣いや行動がとれるようにする。
- ② 「生活アンケート」等の客観的な資料を活用して、正確な児童生徒の実態把握に努め、小中が連携して、自分の思いを安心して伝えられるような子どもたちの信頼関係が築けるように努める。

4 郷土に誇りを持てる子

- ・ 地域、家庭との連携
- ・ 体験活動の充実

【具体的目標】

- ① 家庭訪問・授業参観・PTA活動等を通じて、保護者との交流の機会を増やし、組織的に連携を図る。
- ② 学校運営協議会との連携を深め、子どもたちの経験や体験の幅を広げるために、学校行事や体験学習などで積極的に地域の方との交流を図る。
- ③ 地域の一員として、地域行事に主体的に参加できるよう環境や条件を整える。